

## 総合的な学習の時間学習指導案

指導者 所 友貴

1 日 時 令和5年10月20日（金）第5校時

2 学 年 第5学年1組 31名

3 単元名 食文化の良さを伝えよう～海田を盛り上げよう！5C大作戦！～

### 4 単元目標

#### 探究のサイクル1

○海田の食文化の現状と課題を知り、自分たちにできることはどんなことか考えよう。

#### 探究のサイクル2

○海田にあるお店を調査し、詳しくなろう。

#### 探究のサイクル3

○自分たちにできることを実行しよう。5C大作戦！

### 5 単元について

#### (1) 教材について

本単元は、「食文化のよさを伝える」ことを最終的なゴールにして、海田町をテーマに主体的に課題を見出し、その課題を解決するためにどうすればよいのか考え、調べたことをまとめたり伝えたり、協働的に課題解決に取り組むプロセスを繰り返すことができる単元である。また、この学習を通して児童自身が海田に根付いている食文化について知り、深めることで地域への愛着を持つこと、文化を継承していこうという思いを持ち、将来的に海田という故郷を語れるようになることを目的としている。より広い視野で食文化を捉え、和の文化の美しさや奥深さなど、新しく気付く点も多様に生まれてくると考える。自分たちの故郷である海田に愛着を抱き、主体的に学習することで一層学びを深めることができると思う。

#### (2) 児童の実態

本学級の児童は、これまでに3年生では福祉、4年生では防災について海田町の地域の中で課題を見出し、学習をしてきている。5年生になってからは、「食文化」をテーマに学習を始めたが、自分たちが住む海田町の郷土料理や食材についてあまり知らないということに改めて気付き、海田の食文化について調べることから始めた。自分たちが知らないだけで海田ならではの郷土料理や食材は意外と身近にあること、今まで何気なく経験したり見たりしていたことなどに気付き、食文化の素晴らしさをよりたくさんの人に伝えたいという思いを持っている。9月の意識調査の結果からも、「なぜだろう・やってみよう」の項目において83%の児童が肯定的回答である。しかし、「進んで資料集めや取材をする」の項目は69%、「自分の考えを積極的に伝える」の項目は65%と否定的回答の割合が高い。意欲はあるが、どうすれば食文化のよさを広めることができるのか行動に移したり、新しいアイデアを考えたりしようとする児童が少なく、自分たちで課題を考え、主体的に課題解決に向けて話し合う目的や意図、ゴールイメージを明確に持つ経験が少ないことが課題として考えられる。

#### (3) 指導について

本中学校区で育成したい資質・能力は、次の3点である。これらを育むために、本単元では、次のような手立てを行う。

資質・能力	手立て
主体性	身近である食文化の根幹にある海田町の歴史課題をテーマに設定し、海田高校や海田さつまの会などとの連携や校内で他学年に発信、新たなさつまレシピの考案を設定するなどして主体的な学びを促す。
コミュニケーション力	グループ活動を充実させることで、友達の考えとの結びつきや自分の考えや思いの整理、そこから新たなアイデアを創造するなど学びを深められるようにする。
メタ認知	毎時の学習の振り返りで自己評価を行う時間を設定する。そこで自分の成長への気付きやグループ内の交流で分かったことなどを整理させるようにする。

## 6 評価規準及びルーブリック

### (1) 評価規準

評価の観点		
①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
<p>ア 地域の農業や生産者、食に関わる人々の工夫や努力が分かる。</p> <p>イ 情報を比較・分類・関連付けるなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。</p> <p>ウ 他者と協働して活動に取り組むよさや自分自身の成長が分かる。</p>	<p>ア 身近なこと・ものから設定した課題について、地域の人々等の思いを踏まえて課題を設定し、解決方法や手順を考え、見通しを持って追究している。</p> <p>イ 目的に応じて手段を選択し、情報を収集したり、必要な情報を選んだりしている。</p> <p>ウ 整理した情報を関連付けたり、多面的に考察したりして分析している。</p> <p>エ 相手や目的、意図に応じ、工夫してまとめ、表現している。</p>	<p>ア 探究活動を通して、自分自身を振り返り、自己の生き方について考えている。また、異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しながら、探究活動に取り組んでいる。</p> <p>イ 課題意識をもって、自分なりの方法を工夫しながら探究活動に取り組んでいる。また、課題解決に向けて、他者と協働して学び合っている。</p> <p>ウ 探究活動を通して、自分と実生活・実社会の問題の解決に取り組もうとする。</p>

### (2) 探究のサイクル2におけるルーブリック

資質・能力			B 目標を概ね達成した状態	A 目標を大きく達成した状態
知識・技能	メタ認知	ウ	他者と協働して活動に取り組むよさや自分自身の成長が分かる。	他者と協働して活動に取り組むよさや自分自身の成長が分かり、自己の生き方につなげて考えることができる。
思考・判断・表現	コミュニケーション力	イ	整理した情報を比較して共通点や相違点を考察して分析している。	整理した情報を関連付けたり、多面的に考察したりして分析している。
主体的に学習に取り組む態度	主体性	イ	自分なりの方法を考えて探究活動に取り組んでいる。また、他者と協働して学び合っている。	課題意識を持って、自分なりの方法を工夫しながら探究活動に取り組んでいる。また、課題解決に向けて、他者と協働して学び合っている。

## 7 指導と評価の計画（全45時間）

\*別紙1：「単元構想図」参照

8 本時の展開

本時の目標 専門家や保護者を迎え、これまでの活動を通してまとめた提言を討議することを通して、海田を盛り上げるための効果的な方法について考え、主体的に海田町の課題を解決しようとする態度を育てる。		
学習活動	指導上の留意事項	評価規準 (評価方法)
<p>1 前時の振り返りから本時の学習活動を確認し、本時のめあてを設定する。</p>	<p>○今までの学習をチャート図や写真などで振り返り、本時の学習課題に向かう資料を提示する。</p>	
<p><b>めあて</b> 海田を盛り上げるために、自分たちが考えたことを聞いてもらい、ゲストティーチャーの方と話し合おう。</p>		
<p>2 グループごとに自分の考えをゲストティーチャーに伝え話し合う。</p> <p><b>【例】</b> YouTube, レシピ考案, PR 活動, チランなど</p> <p>(1) 考えを伝える (2) ゲストティーチャーの考えや思いを聞く。</p>	<p>○ゲストティーチャーを含むグループを編成し、6つのブースに分けておく。役割分担をしておく。</p> <p>○グループで準備している資料やまとめているものを提示しながら説明させる。</p> <p>○必要に応じて言葉の解釈を補助する。</p> <p>○話し合いで出たことをジャムボードでまとめるようにしておく。</p>	<p><b>【③-イ】</b> (ジャムボード・ワークシート・発言分析)</p>
<p>3 全体で交流する。</p>	<p>○電子黒板に各班のジャムボードを映し発表させて、キーワードや考えの深まりや変化があったことなどを板書に書いて整理していく。</p>	
<p>4 本時のまとめを行う。</p>	<p>○浮き彫りになった課題をどうしていくかを問い、次の課題設定につなげていく。</p>	
<p>5 本時の学習を振り返り、次時の学習活動を確認する。</p>	<p>○話し合いで生まれた気付きや新たな発見などを共有する時間を確保する。</p> <p>○ホップステップジャンプを示し、選択させて、振り返りをさせる。</p>	
<p>ホップ：なるほどと思ったこと。 ステップ：今まで学習したこととつながりを挙げながら ジャンプ：学ぶ前との変化。次の学びにどう生かすか。</p>		
<p><b>振り返り</b> 色々な立場の方々と意見を交流することで、自分たちだけでできることやできないことがあること、新たに見えた課題があることから役場や安芸商工会、お店などの協力が必要だと思った。海田町を盛り上げるために自分たちにできることを色々な視点で考えていかなければいけないと思った。</p>		

## 9 板書計画

**めあて** 海田を盛り上げるために、自分たちが考えたことを聞いてもらい、ゲストティーチャーの方と話し合おう。

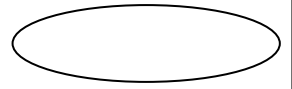
本時までの流れ

話し合いのできた意見や疑問など

- 自分たちにはなかった考え方
- 新しい視点

ジャムボード（電子黒板）

まとめ



振り返り

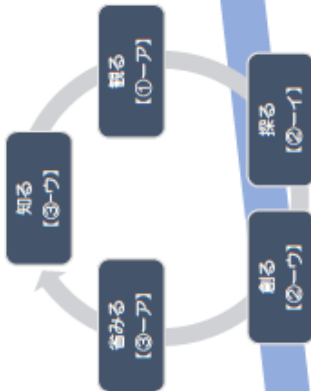
ホップ：なるほどと思ったこと。  
ステップ：今まで学習したことと  
つながりを挙げながら  
ジャンプ：学ぶ前との変化。次の学びにどう  
生かすか。

《本質的な問い》海田町の良さをもちと知ってもらおうために自分たちに行えることは何だろうか。

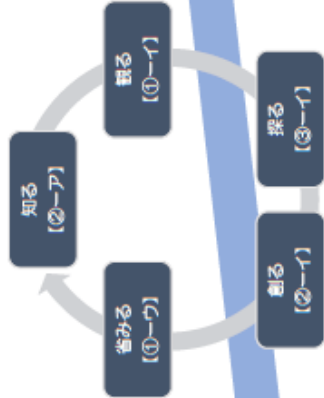
問題

海田町の食文化の良さを伝えよう ～海田を盛り上げよう！5C大作戦！～

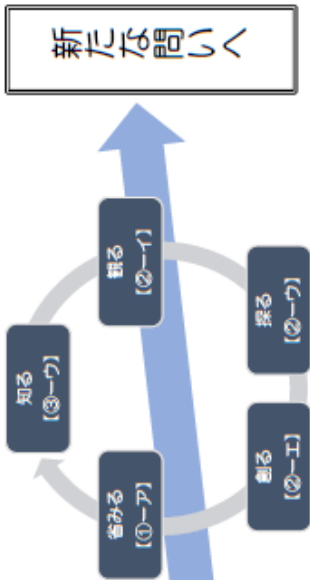
①海田の食文化の現状と課題を知り、自分たちに行えることはどんなことが考えよう。



②海田にあるお店を調査し、詳しくなるよう。



③自分たちに行えることを実行しよう。5C大作戦！



新たな問いへ

探究のサイクル1 (10時間)

- 知る
  - 海田の町の良いところ・改善すべきところについて話し合う。
  - 海田の食品店について調べ、色々なお店があることを知る。
- 観る
  - 海田の町の特徴や食品店を調べ、いく中で、海田の食文化の課題について、まだまだ知らないところがたくさんあることに気付く。
- 探る
  - 家族からの聞き取りやインターネットで調べて集めた情報を整理する。
- 創る
  - グループスライドやジャムボードにまとめる。
  - 調べた大まかなことについて整理しておく。
- 省みる
  - 自分たちがどうしたいか問い、そのためにどうしたらよいか考えさせ、次の課題につなげていく。
  - 自分たちの活動を振り返り、自分の学び方や自分の住む地域への思いの深まりについて振り返る。

探究のサイクル2 (15時間)

- 知る
  - フィールドワークを通して、視点をもたせただ上で歩き、色々な発見や疑問をもつようにする。
  - 海田のお店の方はどんな感じで海田で店を開いているのか、また、海田町の魅力を伝えようとしている人はどんな思いなのか関心を持つ。
- 観る
  - 話し合いを通して、調べるお店を選び、目的、方法を考えながらグループで学習計画を立てる。
- 探る
  - お店の方に協力していただき、お店の伝えたい“いいね”を集める。
  - 専門家や保護者など色々な立場の方の意見を聞きながら、海田の活性化のよい方法を考えていく。
- 創る
  - 調べたことをスライドや紙芝居など、それぞれで決めた方法でまとめ発表したり掲示したりする。
  - 校内の「いい時間の部屋」に特別展示をする。
- 省みる
  - 自分たちの活動を振り返り、自分の学び方や海田への思いの深まりについて省察する。
  - 集めた情報を整理し、発信する際にとどのような情報を載せることで、魅力を伝えることができるか分析する。
  - お店の方の思いや魅力作り推進課の方の思いから、次の学習活動の課題をもつ。

探究のサイクル3 (20時間)

- 知る
  - 海田の魅力を伝えるための効果的な方法について話し合い決定する。
- 観る
  - 成果物を作成するための学習計画を立てる。
- 探る
  - これまでの学習を整理し、発信の準備を行ったり、提案の練習をしたります。
- 創る
  - 国語科 事案と感想、意見とを区別して、説得力のある提案をしよう  
「提案しよう、言葉とわだしたち」
  - 海田町魅力づくり推進課と連携し、ホスターやCMなどを作成する。
  - 校内や地域などの相手に発信する。
  - 校内の「いい時間の部屋」に特別展示をする。
- 省みる
  - 1年間の学びを振り返る。
  - 自分たちの活動によって、たくさんの人に海田町の良さを広めることができたか。
  - 学んだことを自己の生き方につなげて取り組むことができたか。